

# 漁況情報 No.2

平成 19 年 5 月 22 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : [CE0012@pref.iwate.jp](mailto:CE0012@pref.iwate.jp)

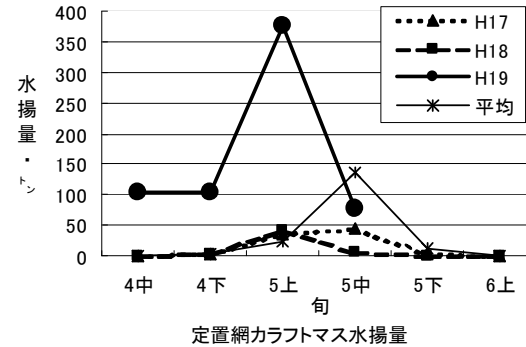
\*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

## << トピックス >>

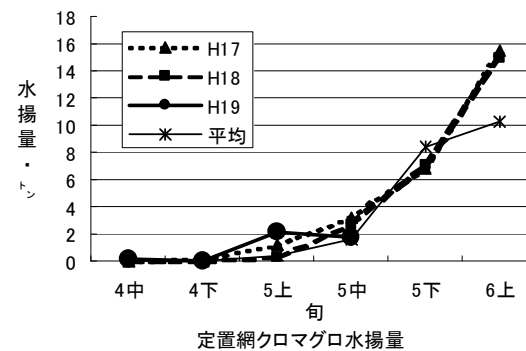
カラフトマス(定置網)、コウナゴ(棒受網)の水揚げは減少しました。  
クロマグロ(定置網)の水揚げは伸び悩んでいます。  
スルメイカ(定置網)の水揚げが順調に始まりました。

### 1. 水揚げ状況

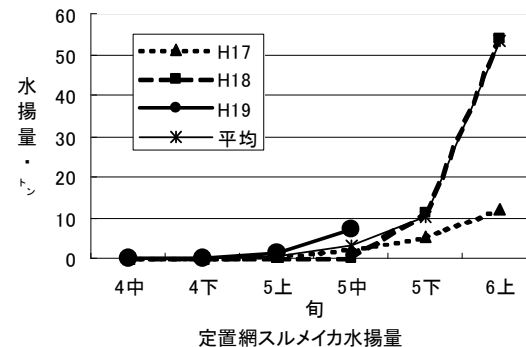
(1) カラフトマス(定置網)は大船渡を中心に水揚げがあり、5月中旬の水揚げ量は75.9トン(前年同期の15.0倍)でした。また、5月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は136.9トンで、旬水揚げはその55.5%でした。年累計は712.7トン(前年同期の14.5倍)です。



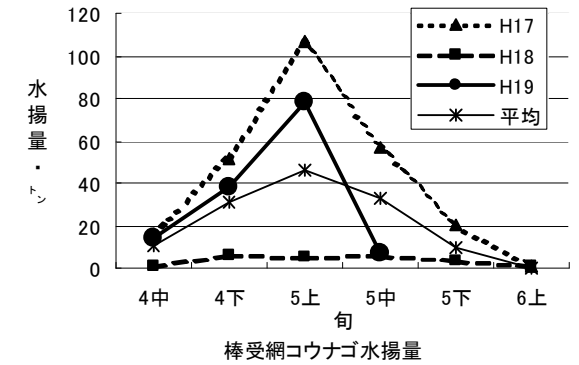
(2) クロマグロ(定置網)は大船渡を中心に水揚げがあり、5月中旬の水揚げ量は1.8トン(前年同期の56.4%)でした。また、5月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は1.6トンで、旬水揚げはその1.1倍でした。年累計は4.3トン(前年同期の1.2倍)です。



(3) スルメイカ(定置網)は大船渡を中心に水揚げがあり、5月中旬の水揚げ量は7.0トン(前年同期の78.8倍)でした。また、5月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は3.2トンで、旬水揚げはその2.2倍でした。年累計は8.7トン(前年同期の39.4倍)です。



(3) コウナゴ(棒受網)は久慈を中心に水揚げがあり、5月中旬の水揚げ量は7.2トン(前年同期の1.1倍)でした。また、5月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は32.8トンで、旬水揚げはその22.0%でした。年累計は149.8トン(前年同期の8.0倍)です。



\*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

### 2. 調査結果、その他の情報

#### ◎サワラ水揚げ

サワラ(定置網)は5月上旬から水揚げが増加し、5月中旬の水揚げ量は17.7トン(前年同期の3.6倍)でした。また、水揚げの中心は大船渡(11.5トン)でした。5月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は4.8トンで、旬水揚げはその3.7倍でした。

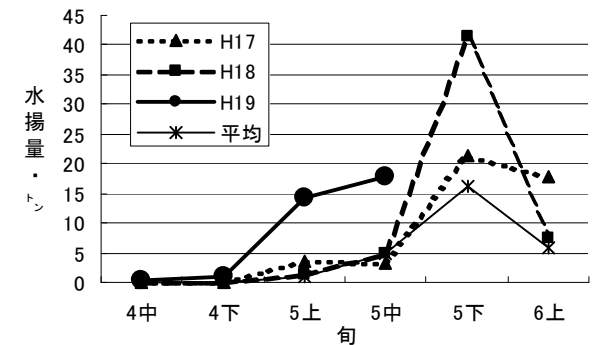


図1 サワラ水揚げ(定置網)

#### ◎スルメイカ体長組成

5月中旬の定置網(釜石魚市場)におけるスルメイカは、9cmと14~15cmにモードがある双峰型でした。また、平成18年は6cmに大きなモードと16cmに小さなモードがある双峰型であり、今年は小型のスルメは昨年よりやや大きめ、大型はやや小さめの傾向がみられました。また、平成17年は14cmにモードがある単峰型でした。

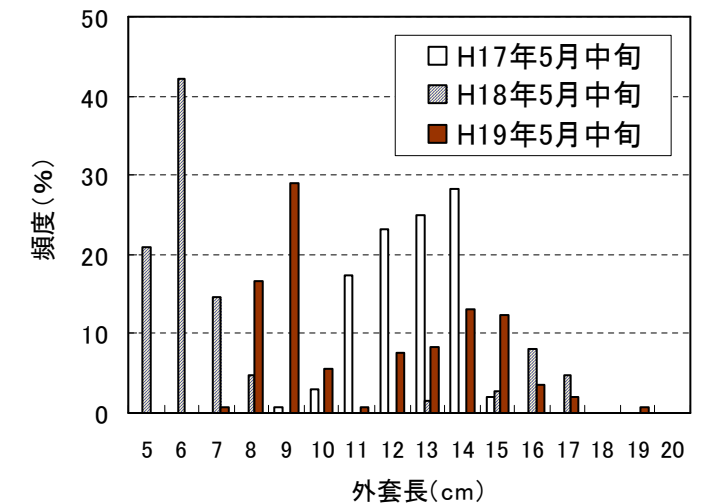


図2 スルメイカ体長組成(定置網、釜石魚市場)

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。